



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月5日  
東

上場会社名 アマテイ株式会社 上場取引所  
コード番号 5952 URL <http://www.amatei.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藪内 茂行  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 石野 栄一 (TEL) 06-6411-1238  
四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	3,926	2.3	117	△7.1	118	3.1	100	7.1
29年3月期第3四半期	3,839	△3.8	127	128.6	114	158.3	94	△28.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 120百万円(19.4%) 29年3月期第3四半期 100百万円(0.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	8.58	—
29年3月期第3四半期	7.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	5,385	1,247	22.5
29年3月期	5,161	1,156	21.8

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 1,213百万円 29年3月期 1,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	2.50	2.50
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	5,300	3.6	145	△9.0	120	△18.3	100	△10.7
								8.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	12,317,000株	29年3月期	12,317,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	548,953株	29年3月期	548,953株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	11,768,047株	29年3月期3Q	11,990,291株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策を背景に、企業収益や雇用環境の改善が見られる等、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、米政権に対する政策不安や北朝鮮、中東等の地政学リスクにより、海外経済の不確実性が高まっており、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような事業環境のなか、当社グループの主たる事業である建設・梱包向事業のうち建設業界向は、当第3四半期連結累計期間における新設住宅着工戸数が74.1万戸(前年同四半期比1.3%減)となり、住宅着工利用関係区分での持家・貸家は弱含みで推移し、第3四半期連結期間における釘の需要は幾分低下しました。一方、電気・輸送機器向事業は、弱電・OA機器向において需要家の中国での現地調達化が定着しましたが、当第3四半期連結累計期間の需要は、前年同四半期に比べ、OA機器関連製品等で増加しました。しかし、依然価格競争は激しく、事業環境は厳しい状況が続いております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、3,926百万円(前年同四半期3,839百万円、2.3%増)となりました。増減内訳は、建設・梱包向は0百万円減(0.0%減)、電気・輸送機器向は87百万円増(12.3%増)であります。営業利益は、電気・輸送機器向は、需要の増加に伴い増益となりましたが、建設・梱包向は、生産性の向上により製造原単価は下がったものの、原材料・副資材価格等の値上がりにより、製造コストが上昇したため減益となり、117百万円(前年同四半期127百万円)となりました。経常利益は、保険金収入・保険金解約返戻金等があり、118百万円(前年同四半期114百万円)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失として固定資産除却損3百万円を計上し、法人税、住民税及び事業税が11百万円であったこと等により、100百万円(前年同四半期94百万円)となりました。

当四半期連結累計期間におけるセグメントの業績を示すと、次の通りであります。

#### (建設・梱包向)

建設・梱包向セグメントは、新設住宅のなかの釘を多く使用する木造の持家・賃貸等の住宅着工は微減となり、需要環境は幾分悪くなりましたが、国産品の販売量の伸びもあり、売上高は前年同四半期と比べ横ばいとなりました。利益面では、鋼材価格等の高騰に対して、十分な価格転嫁が難しかったため減益を余儀なくされ、この結果、当セグメント売上高は、3,128百万円(前年同四半期3,129百万円(0.0%減))となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ24百万円減少し、245百万円となりました。

#### (電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向セグメントは、弱電・OA機器向け及びゲーム機器の中国での現地調達化が定着しましたが、OA機器関連製品や輸送機器関連部品・産業機器向のライセンス製品の需要の増加があり、増収となりました。利益面では、売上高が伸びたことにより、前年同四半期に比べ増益となり、この結果、当セグメントの売上高は、797百万円(前年同四半期710百万円(12.4%増))となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ21百万円増加し、22百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ・資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は5,385百万円(前連結会計年度末〔以下「前年度末」という〕比223百万円増)となりました。流動資産は、前年度末に比べ213百万円増加し、3,290百万円となりました。これは現金及び預金が123百万円、電気・輸送機器向の第3四半期での需要の増加により、受取手形及び売掛金が72百万円、また原材料及び貯蔵品が50百万円それぞれ増加しましたが、商品及び製品が41百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は、前年度末に比べ10百万円増加し、2,094百万円となりました。これは有形・無形固定資産の新規設備投資額116百万円に対して、減価償却費が123百万円であり、投資有価証券が当第3四半期連結会計期間末の株価の上昇により、11百万円増加したこと等によるものであります。

##### (負債)

負債合計は、前年度末に比べ132百万円増加し、4,138百万円となりました。流動負債は、前年度末に比べ20百万円増加し、2,715百万円となりました。固定負債は、前年度末に比べ111百万円増加し、1,422百万円となりました。これは長期借入金等が増加したことによるものであります。

有利子負債(短期借入金、長期借入金)は2,836百万円(前年度末比185百万円増)となりました。これは、短期借入金の純増が50百万円であり、長期借入金の返済が459百万円に対して、借入が595百万円であったこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、1,247百万円となり、前年度末に比べ91百万円増加しました。これは当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益が100百万円であるのに対して、配当金の支払いが29百万円あり、その他有価証券評価差額金が、株価の上昇により、前年度末に比べ17百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前年度末の21.8%から22.5%となり、1株当たり純資産は95.56円から103.09円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成29年5月11日の公表値の範囲内であり、修正しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	572,231	696,100
受取手形及び売掛金	1,286,754	1,358,776
電子記録債権	101,206	104,747
商品及び製品	697,798	656,677
仕掛品	215,706	223,418
原材料及び貯蔵品	169,318	219,760
前払費用	11,887	12,668
繰延税金資産	21,344	21,344
その他	4,023	519
貸倒引当金	△3,776	△3,573
流動資産合計	3,076,496	3,290,438
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	488,006	462,471
機械装置及び運搬具（純額）	581,014	564,644
土地	733,542	733,542
その他（純額）	45,377	37,812
有形固定資産合計	1,847,940	1,798,471
無形固定資産		
ソフトウェア	36,650	51,049
その他	0	25,050
無形固定資産合計	36,650	76,099
投資その他の資産		
投資有価証券	111,580	123,038
長期前払費用	4,741	3,323
その他	96,011	105,960
貸倒引当金	△12,091	△12,051
投資その他の資産合計	200,242	220,271
固定資産合計	2,084,833	2,094,841
資産合計	5,161,329	5,385,280

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	766,325	761,431
電子記録債務	61,522	102,842
短期借入金	1,575,017	1,658,294
未払法人税等	22,480	3,942
未払消費税等	40,620	12,361
未払費用	49,601	53,154
賞与引当金	46,795	25,334
役員賞与引当金	11,730	—
その他	120,538	98,237
流動負債合計	2,694,632	2,715,598
固定負債		
長期借入金	1,075,203	1,177,778
繰延税金負債	12,946	20,234
役員退職慰労引当金	35,951	33,905
退職給付に係る負債	183,087	187,138
資産除去債務	3,479	3,493
固定負債合計	1,310,668	1,422,550
負債合計	4,005,301	4,138,148
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	615,216	615,216
資本剰余金	40,181	40,181
利益剰余金	504,515	576,053
自己株式	△49,060	△49,060
株主資本合計	1,110,852	1,182,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,698	30,751
その他の包括利益累計額合計	13,698	30,751
非支配株主持分	31,476	33,990
純資産合計	1,156,028	1,247,132
負債純資産合計	5,161,329	5,385,280

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	3,839,162	3,926,329
売上原価	3,084,540	3,167,917
売上総利益	754,621	758,412
販売費及び一般管理費	627,617	640,476
営業利益	127,004	117,936
営業外収益		
受取利息	26	15
受取配当金	1,413	1,731
助成金収入	—	2,429
保険解約返戻金	2,556	2,661
保険金収入	—	5,343
その他	7,688	6,447
営業外収益合計	11,684	18,628
営業外費用		
支払利息	18,179	14,960
その他	5,927	3,527
営業外費用合計	24,107	18,488
経常利益	114,581	118,076
特別利益		
固定資産売却益	48	100
特別利益合計	48	100
特別損失		
固定資産除却損	4,913	3,295
特別損失合計	4,913	3,295
税金等調整前四半期純利益	109,716	114,880
法人税、住民税及び事業税	16,329	11,604
法人税等調整額	137	△194
法人税等合計	16,466	11,409
四半期純利益	93,250	103,471
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,033	2,513
親会社株主に帰属する四半期純利益	94,283	100,958



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	93,250	103,471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,732	17,052
その他の包括利益合計	7,732	17,052
四半期包括利益	100,982	120,523
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	102,015	118,010
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,033	2,513

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,129,061	710,101	3,839,162	—	3,839,162
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,006	7,815	8,822	△8,822	—
計	3,130,068	717,917	3,847,985	△8,822	3,839,162
セグメント利益	269,982	681	270,664	△143,660	127,004

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	270,664
セグメント間取引消去	△249
全社費用(注)	△143,410
四半期連結損益計算書の営業利益	127,004

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,128,510	797,819	3,926,329	—	3,926,329
セグメント間の内部売上高 又は振替高	158	13,163	13,321	△13,321	—
計	3,128,668	810,982	3,939,651	△13,321	3,926,329
セグメント利益	245,769	22,074	267,844	△149,908	117,936

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	267,844
セグメント間取引消去	△77
全社費用(注)	△149,830
四半期連結損益計算書の営業利益	117,936

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績及び仕入実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次の通りであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	2,438,342	△1.2
電気・輸送機器向	692,316	+21.5
合計	3,130,658	+3.1

(注) 1 金額は、生産高は製造原価、仕入実績は仕入価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

## ② 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次の通りであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	3,131,950	△1.5	361,852	△2.7
電気・輸送機器向	782,093	9.1	126,443	+10.1
合計	3,914,043	0.4	488,296	+0.3

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

## ③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次の通りであります。

事業の種類別セグメント	販売高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	3,128,510	△0.0
電気・輸送機器向	797,819	12.4
合計	3,926,329	2.3

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 当第3四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績および当該販売実績に対する割合は次の通りであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
大東スチール株式会社	901,353	23.5	904,904	23.0

3 上記の金額には、消費税等は含まれていません。